

☆-----☆
皆様こんにちは！メルマガ担当のトムです。

小春日和があつたかと思うと芯から冷える寒い日があつたりで、秋から少しづつ本格的な冬に近づいてきている今日この頃ですが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

11月にあつた皆既月食は、422年ぶりに天王星食とも重なり、実に神秘的な宇宙科学の経験をさせてくれました。もしかしたら徳川家康も422年前のこの天文イベントを観ていたかもしれないと思うとなおさら感慨深いですね。当会では引き続き皆様とメール等で対話をさせていただきながら、パラスポーツを応援する活動やイベントを新型コロナ感染防止に十分配慮しながら実施して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

さあ、パラ草の会メールマガ第24号の発刊です！！

今回は、下記の内容で進めて参ります。

- 1、最新の活動報告（10月～）
- 2、各種イベント参加予定情報、イベント開催予定
- 3、心のバリアフリーコーナー

【活動報告】

① パラバドミントン世界選手権 2022

11月初旬、ひさしぶりに行きました、代々木第1体育館。6日間開催されていたので、まず初日、推し選手の試合スケジュールをチェックし、会場へ♪ 10コートも作られていて、さすが世界選手権！！という雰囲気。

客席がとっても広いので、コートに一番近い場所に移動しながら観戦しました。たくさんの選手が一度に試合をしているので、喜び方や悔しがり方などの個性にも目が行き、いつの間にか違う試合を観ていたり（汗；）

週末の決勝戦では、渋谷区が用意してくださったインカムを使用して、東京パラ銀メダリストの鈴木亜弥子選手の解説を聞きながらの贅沢観戦。大学生チアリーディングの方が、応援のリードをしてくださり、なかなか忙しい観戦（笑）。たっぷり堪能して、ふと振り向くと座席後方に鈴木選手の姿が！。こんな近くにいらしたなんてっ！。

土日は、近くの代々木公園で「くみんの広場」というイベントも開催されており、すごい賑わいの中、屋台も堪能。こちらは、毎年11月の第1土日開催のようなので、お近くのみなさまぜひ次回は散策してみてください。

② 2022 車いすラグビーSHIBUYA CUP

11/19(土)～20(日)、今回が第1回目となる SHIBUYA CUP。

次世代選手のための大会ということもあり、コート内は下は高校生選手からというフレッシュな顔ぶれが出場し、日本代表エース池崎選手の解説を聞きながらの試合観戦でした。しかし、次世代選手と言っても、タックルなどの迫力は変わりません!! メンバー層の厚さに驚きです。

表彰式で連盟理事長の高島さんが、今後、SHIBUYA CUP を皆さんと一緒に、テニスのウィンブルトン、ゴルフのセントアンドリュースのような、車いすラグビーのシンボルとなるような大会に作っていきたいとご挨拶されていました。何年後くらいかな、乞うご期待♪。

【パラスポーツイベント開催予定及び当会の活動予定】

1/20(金)～22(日)	車いすラグビー日本選手権（千葉/配信？）
2/2(木)～5(日)	車いすラグビージャパンパラ競技大会（千葉/配信？）
2/5(日)	パラ卓球 区長杯（渋谷区スポーツセンター/配信？）
3/上旬	第2回 渋谷運動会（広尾高校/配信なし？）
3/5(日)	ボッチャ渋谷 CUP

【その他】

・メルマガ担当のトムが10月6日に、渋谷クロスFM「シブヤボイス」で人権トークをしました。
ゆるキャラ人権まもるくんも登場で、スタジオを盛り上げてくれました。
※ 番組後半部分に登場します。

ぜひお聞きください！>> <https://m.youtube.com/watch?v=DFroqp7KuYY&t=1756s>

【心のバリアフリーコーナー】

《種》～誰の心にもある大自然からの贈り物～

行きたいのに「行きたくない」、食べたいのに「食べたくない」、やりたいのに「やりたくない」と言って意地を張ってしまうこと、ありませんか？

何かのきっかけで、心が不思議なくらいひねくれてきて、どうしても素直になれない。素直になれば何でもないことなのに、それを許さない自分がいる。回りに甘えたいからひねくれ、哀れんでもらいたいからへソを曲げる。どこかに甘えがあるのでしょう。

一方、こんなことではいけないと思う意識が心のどこかにあります。

心の歪みを矯正してバランスを取り戻そうとする「種」を誰も心に持っているはずです。

「種」は人が生まれると同時にきっと人の心の畑に蒔かれるでしょう。

この「種」を発芽させて育てるモノは様々な経験であり、開花させるも枯らすも自分次第。世の中の清いも汚いも肥料になり、「種」と共に切磋琢磨していく。心の中にそんな「種」があるとは気がつかず。

一般的に植物の種には人智が及ばない念密な構造が仕組まれています。「現代科学が発達したとはいえタネ一粒も人工的には作ることは不可能です。（日本種苗協会）～引用～」人が作れないとすれば、神（大自然）の仕業と考えるしかありません。

「自分は何のために生まれてきたかわからない」と迷った時に、「誰の心にも神の子（=種）が宿っていて、共に学び苦労し、共に成長していくのが人生」だと考えることができたなら、それからの生き方が少し見えてくるかもしれません。（トム）

※ 次回のメルマガは新年に発刊を予定しております。新たな年に皆様とメルマガでまたお会いできますことを楽しみにしております。